

次期(第10次)行政改革プランの策定

これまでの行政改革の取組

- ・第8次行政改革(推進期間:平成28年度～令和2年度)
⇒基本方針「質の高い行政サービスの提供」「持続性のある財政基盤の確立」
手数料・使用料の見直しやプロジェクトチーム等の見直しを実施など
- ・第9次行政改革(推進期間:令和3年度～令和7年度)
⇒基本方針「行政サービスの向上」「スマート自治体」「コスト削減」
新たなデジタルツールによるオンライン申請の実現や新たな土日開庁業務の実現

一定の成果

上尾市を取り巻く状況

- ・人口:少子高齢化の進行や生産年齢人口の減少
現状65歳以上の高齢者人口が約28% ⇒ 2040年には約37%に上昇する見込み
- ・財政:市税の大幅な増収を見込むことは難しい一方で扶助費や施設老朽化に伴う修繕や更新等に係る費用等の増加
- ・職員:限りある職員数(職員の不足) 平成8年度のピーク時(1,742人)から平成28年度までに330人以上減少し、その後は横ばい



行政サービスを提供するための経営資源が制約され、今後も厳しい状況が続く
⇒ 更なる行政改革に取り組むことが不可欠(第10次行政改革プラン策定の必要性)

次期行政改革プラン 3つの基本方針

厳しい状況下でも、行政サービスを低下させることなく、増え続けるさまざまな行政需要に対応し、継続的かつ効果的な行政サービスを提供していかなければならない。

これからの時代を見据え、以下の3つを行政改革の基本方針として掲げ、行政改革をより実効性のあるものとし、果敢に実行していく。

1. 社会の変化に対応した
市民サービスの向上

2. 効率的・効果的な
行政運営

3. 職員が働きやすい環境
づくりと組織力の向上

基本方針1. 社会の変化に対応した市民サービスの向上

- ✓ 進歩が著しいICT技術等の活用により窓口サービスの向上を図るとともに、既存の枠組みに捉われず、新たな発想・工夫に基づく取組の推進により、市民生活の様々な場面において各種サービスの充実を図り、複雑化、多様化する市民ニーズに応えていく。

【実施計画】

1. 上尾市ICT化推進計画の着実な実施
2. 便利な窓口の実現
3. 総合的なコールセンターの導入

基本方針2. 効率的・効果的な行政運営

- ✓ 職員が自ら担うべき業務の範囲を見直し、政策の企画・立案や相談業務等を職員が重点的に行えるよう、定型業務の業務プロセスの見直しや民間委託化を推進するとともに、AIを含めたデジタルツールなどの先進技術を活用した業務の効率化や省力化・簡素化を図る。
- ✓ 安定的に市民生活を支えることができるよう、行政経営基盤の強化に取り組む。

【実施計画】

- | | |
|-----------------|---------------|
| 4. 相談業務へのAI技術活用 | 7. 民間活力の活用 |
| 5. アナログ規制の見直し | 8. ペーパーレス化の推進 |
| 6. 所管業務の見直し | 9. 税外収入の更なる確保 |

基本方針3. 職員が働きやすい環境づくりと組織力の向上

- ✓ 職員一人ひとりが、それぞれの役割と能力を最大限に発揮し、高い意欲を持って果敢に行政課題や業務改革に取り組むことができるよう、働き方改革の視点を取り入れたワークスタイルを推進する。併せて行政課題に迅速・効果的に適応できる組織づくりを進めることで、行政経営の質を向上させる。

【実施計画】

10. 快適な庁舎環境の整備
11. 多様な働き方の促進
12. 組織・人員配置の見直し